

設 計 書

令和7年度市道0365号線防護柵設置工事

鹿沼市 藤江町

工 期 令和8年3月25日まで

設 計 概 要

・施工延長 L=149.0m

・路側防護柵工 Gr-C-4E L=82.6m

・路側防護柵工 Gr-C-2B L=64.5m

・防止柵工 H=1.1m 土中建込式 L=146.0m

・防止柵工 H=1.1m 構造物建込式 L=3.0m

検算者

設計者

鹿 沼 市 役 所

(甲-1)

設 計 書

事業費	変更前回実施			変更今回		
	設計額	工事価格	消費税	設計額	工事価格	消費税
内 訳						
工事費 (内消費税相当額)						
本工事費						
用地費						
補償費						
委託費						
事務費						
	請負額	請負価格	消費税	請負額	請負価格	消費税
	請負額	請負代金		請負額	請負代金	
	請負率	変更理由		増減額		

土木工事仕様書

令和6年6月1日適用

I 共通仕様

1. 工事仕様については下記の通りとする

(1)河川工事、砂防工事、道路工事、公園工事及びこれらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(2)下水道工事その他これらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①日本下水道協会発行の下水道土木工事共通仕様書(案)

<https://www.jswa.jp/>

②栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(3)土地改良工事、農道整備工事、農業集落排水工事、農村公園工事及びこれらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①栃木県農政部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g02/kyotuusiyousyo2019.html>

②栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(4)治山工事、林道工事、自然公園等施設工事その他これらに類する工事または森林整備業務にかかる工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①栃木県環境森林部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d08/documents/2020042.html>

②栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

(5)水道工事(導水管、送水管、及び配水管)その他これらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/h30kyoutuusiyousyo.html>

②日本水道協会の発行する水道工事標準仕様書

<http://www.jwwa.or.jp/>

なお、最新情報及び改訂版等の管理は表記 URL を参照し、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

2. 資材の購入及び下請負業者の選定について

- (1)本工事において、市内で産出、生産又は製造される資材等の規格品質等が設計図書の仕様に適合すると認められる場合は優先して使用するよう努めること。また、資材購入についても市内業者より購入するよう努めること。
- (2)下請負業者の選定に当っては、市内業者を優先的に使用するよう努めること。
- (3)一次下請業者に対する工事代金の支払いは、速やかに現金又は90日以内の手形で行うものとする。

3. 成果品の電子納品について

請負者は、原則として成果品の電子納品を実施しなければならない。電子納品に当っては、『鹿沼市電子納品運用ガイドライン』を遵守すること。

4. 工事看板の設置基準について

本工事看板の設置は鹿沼市財務部契約検査課 HP 更新履歴(2007年12月18日付)を参照すること。

5. 建設発生土の処分について

請負者は、建設発生土については前記1の工事仕様に定めることのほか、次のことについて施工しなければならない。

- (1)残土運搬・残土処理する場合は関連する諸法令に充分注意し、関係機関と協議するとともに、その旨を監督職員に書面にて報告しなければならない。
- (2)土質試験項目等については、『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壤の汚染及び災害の発生の防止に関する条例』及び『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壤の汚染及び災害の発生の防止に関する施行規則』による。

II 特記仕様

1. 工事資料の提出について

請負者は、工事資料の作成にあたって別紙の鹿沼市工事資料一覧表を参照すること。

2. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

※法定外の労災保険とは、業務や通勤に起因した労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して、労働者災害補償保険法(労災保険法)による労災補償給付とは別に、企業が独自の立場から補償給付の上積みを行うための保険

3. 週休2日制工事

本工事は、「鹿沼市週休2日制工事試行要領」の対象とならない。

4. 熱中症対策に資する現場管理費の補正について

- (1)本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事である。
- (2)試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行について(令和元(2019)年度7月19日付け技管第159号)に基づき行うものとする。
- (3)「熱中症対策に資する現場管理費補正の施行について(令和元(2019)年度7月19日付け技管第159号)」は、栃木県ホームページから取得できる。
(県HP : <https://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/20190718.html>)

5. 工期について

本工事は令和8年度への繰越を予定しており、議会の承認が得られ次第、担当者と協議の上、工期を延長する。

鹿沼市工事資料一覧表

※1 1. 提出書類

No.	工事資料名	500万円未満※4	検査資料	500万円以上	検査資料	備考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-1-10
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-1-10
3	再生資源利用・利用促進(実施)書(計画書は施工計画書)、データ※6	○※3	●	○	●	仕1-1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
4	建設副産物処理承認申請書・同処理調査(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	-	-	○	●	仕1-1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
5	設計図書照査表	△	△	○※2	●	契19、仕1-1-1-3
6	工事履行報告書(工事実施工工程表含む):毎月	-	-	○	●	契13、仕1-1-1-24
7	工事打合せ簿総括表、工事打合せ簿(指示・協議・通知・承諾・提出・報告・その他)	○※7	●	○※7	●	契11Ⅱ④
8	確認・立会願・段階確認書(状況写真添付)	-	-	○	●	契11Ⅱ③、仕3-1-1-6
9	工事写真(電子データ)※8	○	●	○	●	契約16、鹿沼市電子納品ガイドライン
10	使用材料報告書(承認願)(再生クラッシャー(RC材)骨材品質確認状況報告書含む)	○	●	○	●	契15、再生材の利用基準
11	施工計画書(再生資源利用・利用促進計画書含む)	○※3	●	○	●	仕1-1-1-4、土木工事施工計画書作成の手引き
12	施工管理報告書(品質管理、出来形管理)	○	●	○	●	仕1-1-1-23(出来形・品質)
13	台帳関係(舗装・橋梁・照明・標識等)、工事完成図	該当がある場合			仕1-1-1-19、特記仕様書	
14	電子納品成果品(事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む)	電子納品範囲については監督員との協議による			鹿沼市電子納品ガイドライン	
15	その他	監督員が必要と認める資料				
		○:作成資料 ●:検査で確認する資料 △:該当する場合に作成する資料(検査で確認)				

・様式については栃木県土木工事共通仕様書様式集を参照する。

※1 提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2 様式総一3のうち、『栃木県建設工事(変更)請負契約書第19条第1項及び』の記載を削除する。

※3 500万未満の施工計画書に記載する事項

- 1 工事概要
- 2 現場組織表
- 3 緊急時の施工体制及び対応
- 4 再生資源利用・利用促進(計画)書
- 5 その他(請負者・発注者が工事施工上必要な事項)

※4 請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。(施工計画書等は不要)

※6 建設副産物情報交換システム(COBRIS)を利用して登録した場合は、電子データの提出不要。
電子データで提出する場合、国土交通省のホームページより配布している様式(Excel版)で作成する。

※7 「通知」「提出」「報告」「届出」は、電子メールでの提出も可とする。この場合、メール文を印刷することで発議者の押印は省略する。(処理・回答の決裁は必要)提出の頻度は、月に2回程度を標準とし、監督職員との協議により決定する。「指示」「協議」に関する工事打合せ簿は、従来通りの扱いとする。

※8 インデックスプリントは監督員が指示した場合作成する。(省略する場合は、検査時に電子データ(写真等)を確認できる用意をする。)

※5 2. 請負者手持ち資料(検査を受けた年度の翌年から5年間保存)

No.	工事資料名	検査資料	備考
1	安全教育実施記録簿(写真添付)		仕1-1-1-26
2	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、仕1-1-1-18
3	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		仕1-1-1-40
4	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安4、安則16
5	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安則15
6	KY活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則24の11
7	重機等の検査証写し及び点検記録簿(自主点検票写真)		安則169
8	重機作業における誘導員及び人の分離措置状況写真		安則158
9	作業員名簿(自社・下請)		労基107
10	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考查
11	保安施設記録資料		土指針2-2,3
12	山留め、仮締切等の設置後点検記録		安則375
13	足場、支保工等の設置後点検記録		安則567
14	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		考查
15	各種安全パトロール指摘事項は正報告書		考查
16	舗装取りコア等(500m未満で異常が認められない場合には不要、確認は納入伝票等で行うものとする。)	△	仕1-1-1-23(出来形・品質)
17	工事カルテ(請負額500万円以上)		仕1-1-1-5
18	交通整理員集計表及び伝票	△	仕1-1-1-23(出来形・品質)
19	創意工夫提案資料(状況写真添付)		考查
20	各機関等許可証等		仕1-1-1-35
21	地域コミュニケーション、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考查

△該当がある場合は(検査で確認する資料)

※5 請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求めることがあるもの。(原本・原稿等提示)

建	建設業法
建則	建設業法施工規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労動基準法
土指針	土木工事安全施工技術指針
契	鹿沼市建設工事請負契約書
仕	栃木県土木工事共通仕様書
考查	考查項目別運用表

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	05 鹿沼市 実施設計書 0	当初 07-05007200000-40
適用単価区分 適用単価地区 単価適用日	1 実施単価 21 鹿沼土木事務所管内 0-071210(0)	
諸経費体系 ファイル名	1 一般公共 市道0365号線_防護柵設置工事. ES5	
	当世代	前世代
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 ICT間接費率補正の有無 消費税等の率	40 04 道路改良工事 00 計上しない 12 市街地以外 03 一般交通影響なし 01 補正なし 01 補正なし 01 金銭的保証 01 補正なし 06 10%適用	

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事					X1000
舗装		1式			Y0IZZ
防護柵工		1式			Y0I26
路側防護柵工		1式			Y0I26219
ガードレール		1式			Y0I262195I9
ガードレール設置工 G r - C - 4 E 土中建込 塗装品(景観色) 施工規模 50～100m未満	82.6	m		SF261 0 施工 第0-0001号内訳表	
ガードレール設置工 G r - C - 2 B C o 建込 塗装品(景観色) 施工規模 21～100m未満	64.5	m		SF261 0 施工 第0-0002号内訳表	
防止柵工		1式			Y0I2621V
転落(横断)防止柵		1式			Y0I2621V45J

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
転落防止柵設置工 ビーム式 土中建込用 支柱間隔 3m 施工規模 100m以上	146.0	m			SF285 0 施工 第0-0003号内訳表
転落防止柵設置工 ビーム式 コンクリート建込用 支柱間隔 3m 施工規模 100m未満	3.0	m			SF285 0 施工 第0-0004号内訳表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費					
共通仮設費(率分)					
共通仮設費計		1式			
純工事費					
現場管理費					
工事原価		1式			
一般管理費等					
契約保証費		1式			
一般管理費等計					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事価格					
工事価格計					
消費税・地方 消費税額			1式		
請負工事費					

施工内訳表

施工規模 50~100m未満

1 m 当り

ガードレール設置工

Gr-C-4E 土中建込 塗装品(景観色)

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガードレール設置工(塗装) Gr-C-4E 土中建込	1.000	m			REK08
ガードレール Gr-C-4E 塗装 白	1.000	m			TG816 (控除単価)
ガードレール Gr-C-4E 景観色	1.000	m			T4837 (景観色)
小計	1	m			
A 作業区分 C ガードレール種類 E 曲げ支柱加算額の有無 H 夜間作業の有無	=1 =3 =1 =1		B ガードレール規格 D 支柱長による加算額の有無 F 施工規模による加算 I 曲線部の有無		=3 =1 =2 =1

施工内訳表

ガードレール設置工

G r - C - 2 B C o 建込 塗装品(景観色)

施工規模 2 1 ~ 1 0 0 m未満

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ガードレール設置工 (塗装) G r - C - 2 B C o 建込	1.000	m			REL58
ガードレール G r - C - 2 B 塗装 白	1.000	m			TG834 (控除単価)
ガードレール Gr-C-2B 景観色	1.000	m			T4839 (景観色)
小計	1	m			
A 作業区分 C ガードレール種類 E 曲げ支柱加算額の有無 H 夜間作業の有無	=1 =3 =1 =1		B ガードレール規格 D 支柱長による加算額の有無 F 施工規模による加算 I 曲線部の有無		=8 =1 =4 =1

施工内訳表

転落防止柵設置工

ビーム式 土中建込用

支柱間隔 3m

施工規模 100m以上

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵設置 ビーム式・パネル式 土中建込用	100.000	m			RJ008
転落防止柵 ビーム式 (4段ビーム) 土中建込用 $\leq 3m$ 景観色 施工規模100m以上	100.000	m			T1G01
計	100	m			
小計	1	m			
A 防護柵種別 C 施工区分 E 根巻きコンクリートの有無 G 時間的制約の有無 (F = 1時選択)	=2 =1 =1 =1		B 作業区分 D 支柱間隔 F 施工規模 H 夜間作業の有無		=3 =4 =1 =1

施工内訳表

転落防止柵設置工

ビーム式 コンクリート建込用

支柱間隔 3m

施工規模 100m未満

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵設置 ビーム式・パネル式 コンクリート建込用	100.000	m			RJ068
転落防止柵 ビーム式 (4段ビーム) コンクリート建込用 3m 景観色 施工規模100m未満	100.000	m			T1G06
計	100	m			
小計	1	m			
A 防護柵種別 C 施工区分 F 施工規模	=2 =3 =4		B 作業区分 D 支柱間隔 H 夜間作業の有無		=3 =4 =1

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量/ 単位	単 金 額	条 件 名 称
X1000	**本工事**			
Y0IZZ	舗装	1式		
Y0I26	防護柵工	1式		
Y0I26219	路側防護柵工	1式		
Y0I262195I9	ガードレール	1式		
SF261	ガードレール設置工 G r - C - 4 E 土中建込 塗装品(景観色)	82.6 m		A=1, B=3, C=3, D=1, E=1, F=2, H=1, I=1 A=設置, B=G r - C - 4 E 土中建込, C= 塗装品(景観色), D=支柱長 による加算額なし, E=曲げ支柱加算額なし, F=施工規模 50~100 m未満, H=夜間作業(20時~6時)なし, I=曲線部(半径30m 以下)なし
SF261	ガードレール設置工 G r - C - 2 B C o 建込 塗装品(景観色)	64.5 m		A=1, B=8, C=3, D=1, E=1, F=4, H=1, I=1 A=設置, B=G r - C - 2 B C o 建込, C= 塗装品(景観色), D=支柱長 による加算額なし, E=曲げ支柱加算額なし, F=施工規模 21~100 m未満, H=夜間作業(20時~6時)なし, I=曲線部(半径30m 以下)なし
Y0I2621V	防止柵工	1式		
Y0I2621V45J	転落(横断)防止柵	1式		
SF285	転落防止柵設置工 ビーム式 土中建込用	146.0 m		A=2, B=3, C=1, D=4, E=1, F=1, G=1, H=1 A=転落防止柵, B=設置(景観色), C=ビーム式 土中建込用, D=支柱 間隔 3 m, E=根巻きコンクリートなし, F=施工規模 100 m以上 , G=時間的制約なし, H=夜間作業(20時~6時)なし
SF285	転落防止柵設置工 ビーム式 コンクリート建込用	3.0 m		A=2, B=3, C=3, D=4, F=4, H=1 A=転落防止柵, B=設置(景観色), C=ビーム式 コンクリート建込用 , D=支柱間隔 3 m, F=施工規模 100 m未満, H=夜間作業(20時~6時)なし
G0000	**直接工事費**			

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量/ 単位	単 金 額	条 件 名 称
Z0050	共通仮設費(率分)	1式		
G1000	**共通仮設費計**			
G2000	**純工事費**			
Z0020	現場管理費	1式		
G4000	**工事原価**			
Z0030	一般管理費等	1式		
Z0032	契約保証費	1式		
G3200	**一般管理費等計**			
G4800	**工事価格**			
G4500	**工事価格計**			
Z0039	消費税・地方消費税額	1式		
G4900	**請負工事費**			

施工一覽表

防護柵工數量集計表

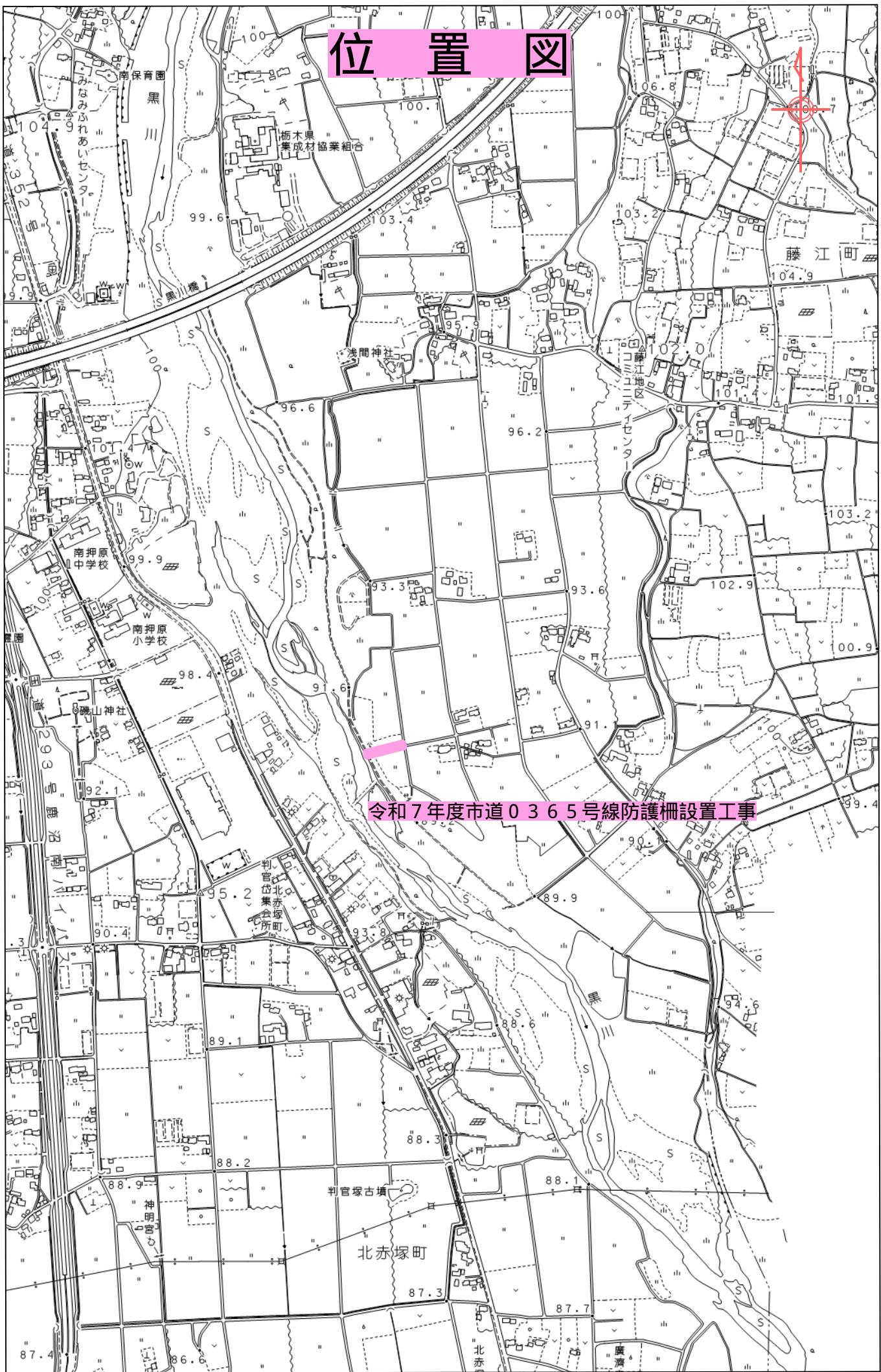
名 称：ガードレール

構造物位置及び延長(箇所)調書

名 称 : 転落防止柵

構造物位置及び延長(箇所)調書

位 置 図



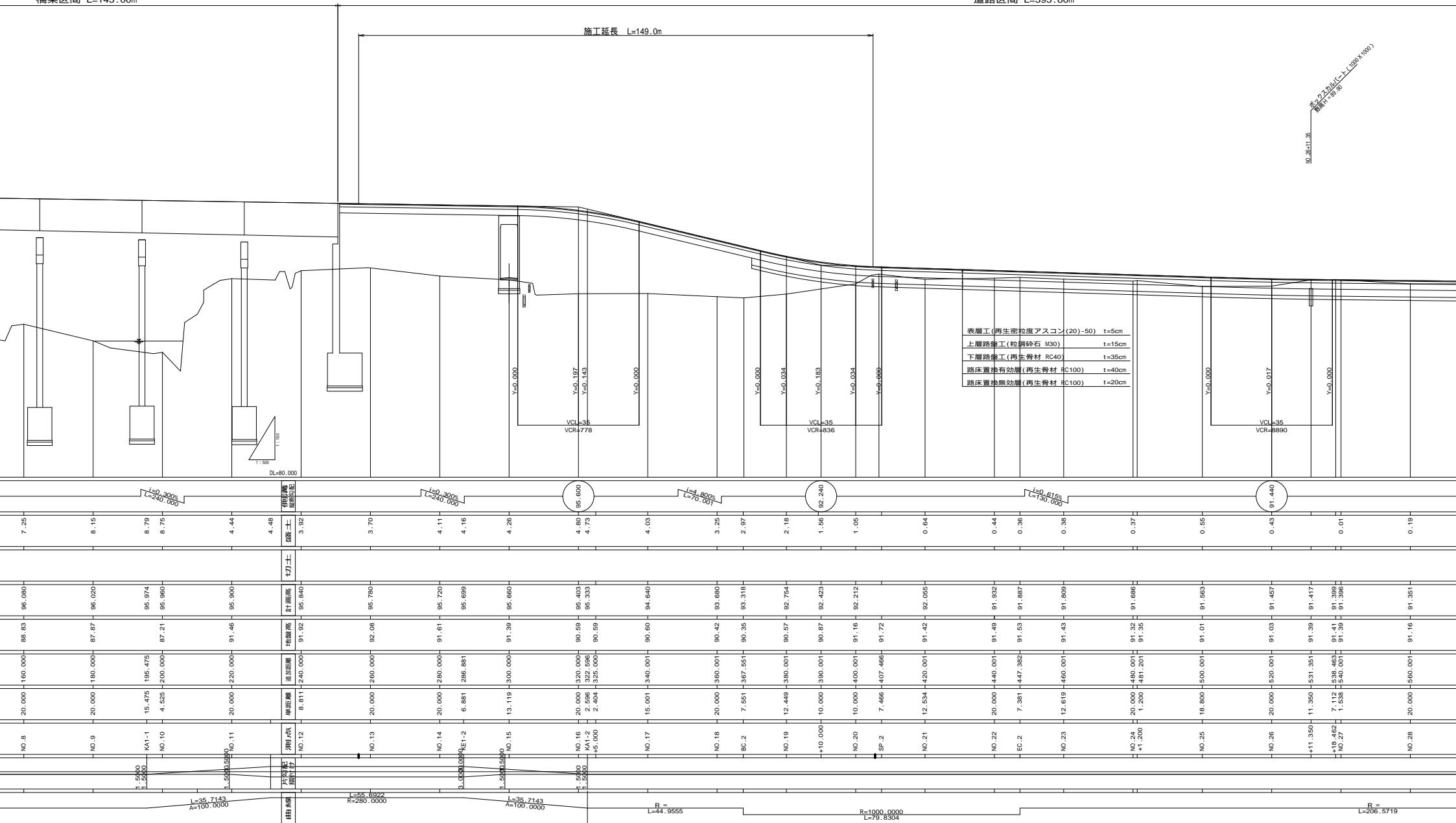
市道0365号線縦断図

V=1:100
H=1:500

設計区間 L=640.90m

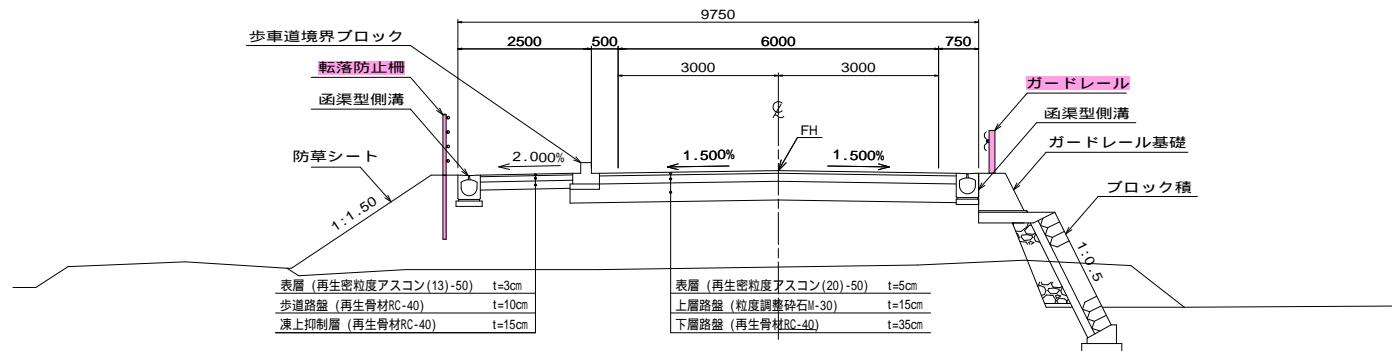
道路区間 L=395.80m

橋梁区間 L=145.00m

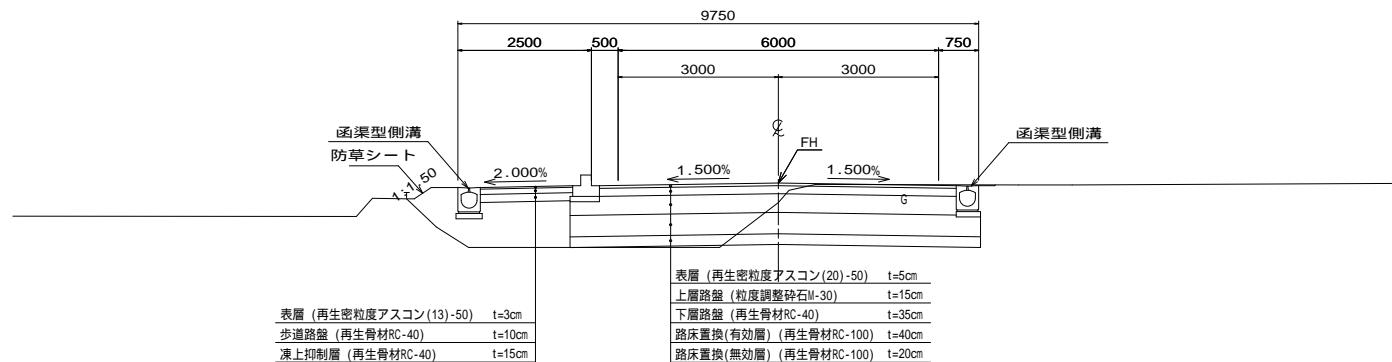


市道0365号線標準横断図 S=1:100

市道0365号線（橋梁～終点）盛土区間

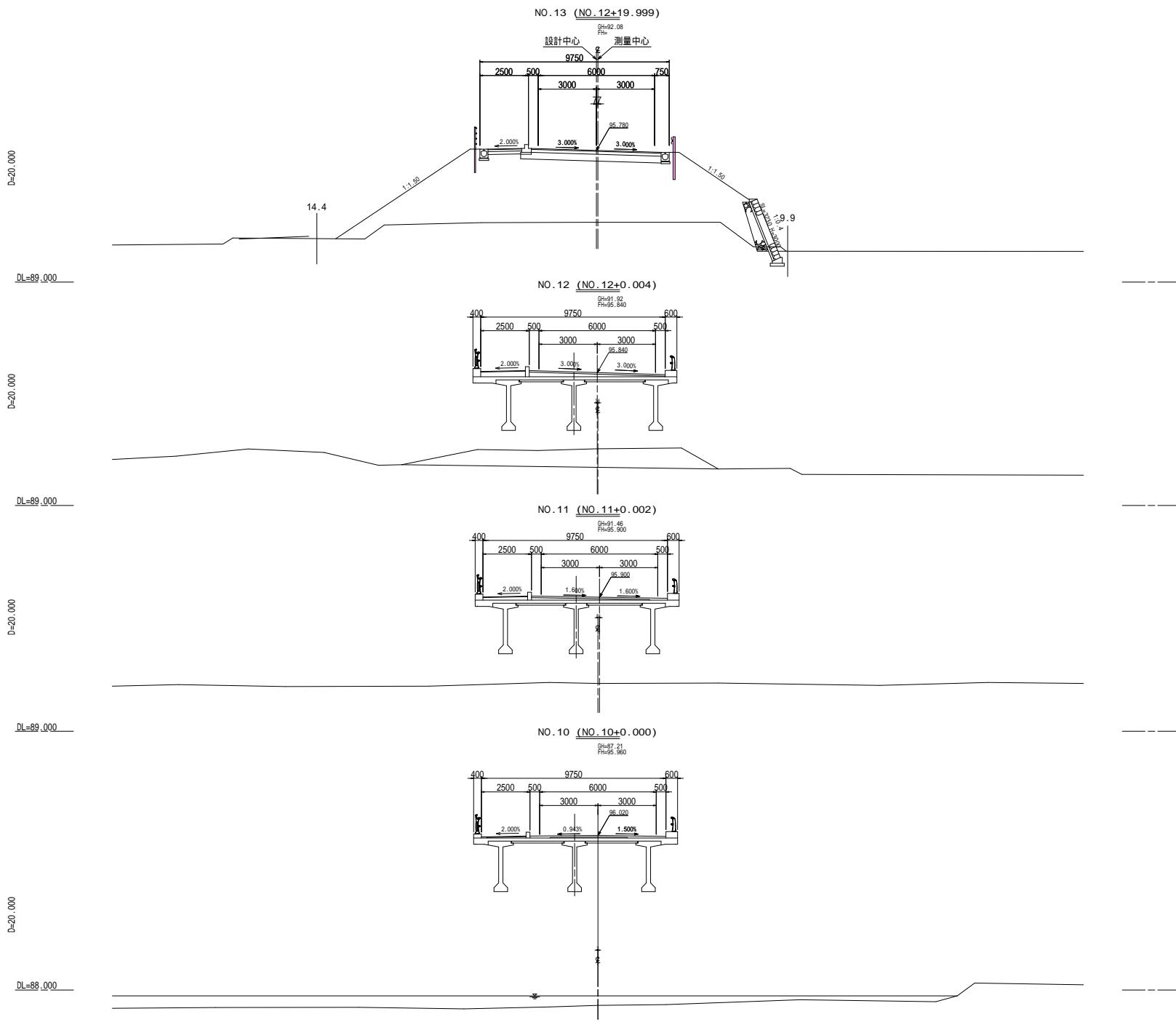


市道0365号線（橋梁～終点）掘削区間



工事名	令和7年度 市道0365号線防護柵設置工事	
図面名	市道0365号線標準横断図	
作成年月日	平成 22年 3月 15日	
縮尺	1:50	図面番号 /
会社名	-	
事業者名	板木県鹿沼市役所	

市道0365号線横断図(4/11) S=1:100



注1: ()内は測点を示す。

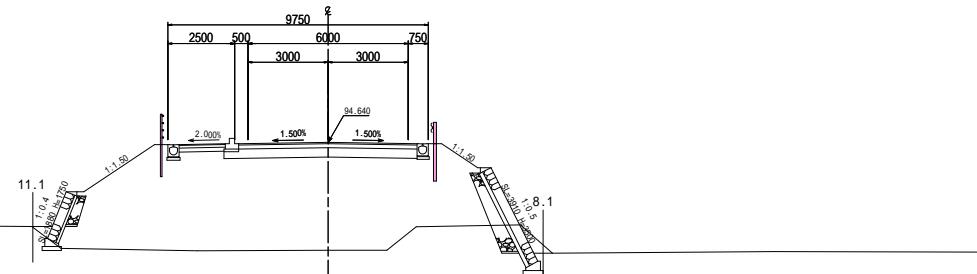
NO.10 - NO.12

工事名	令和5年度 市道0365号線道路築造工事	
図面名	市道0365号線横断図(4/11)	
作成年月日	平成 22年 3月 15日	
縮尺	1:100	図面番号 /
会社名	-	
事業者名	板木県鹿沼市役所	

市道0365号線横断図(5/11) S=1:100

NO.17 (NO.16+19.999)

Gn=91.89
Fr=94.640

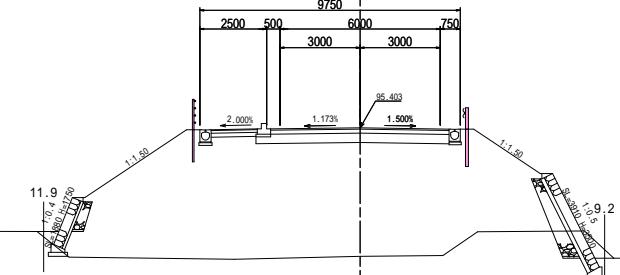


D=20.000

DL=89.000

NO.16 (NO.15+19.999)

Gn=91.59
Fr=95.403

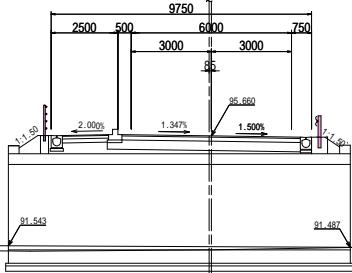


D=11.995

DL=89.000

NO.15 (NO.14+19.997)

Gn=91.39
Fr=95.650



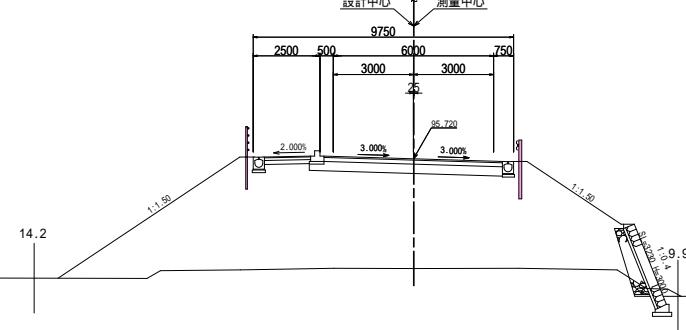
D=20.000

DL=90.000

NO.14 (NO.13+19.995)

Gn=91.61
Fr=95.720

設計中心
測量中心



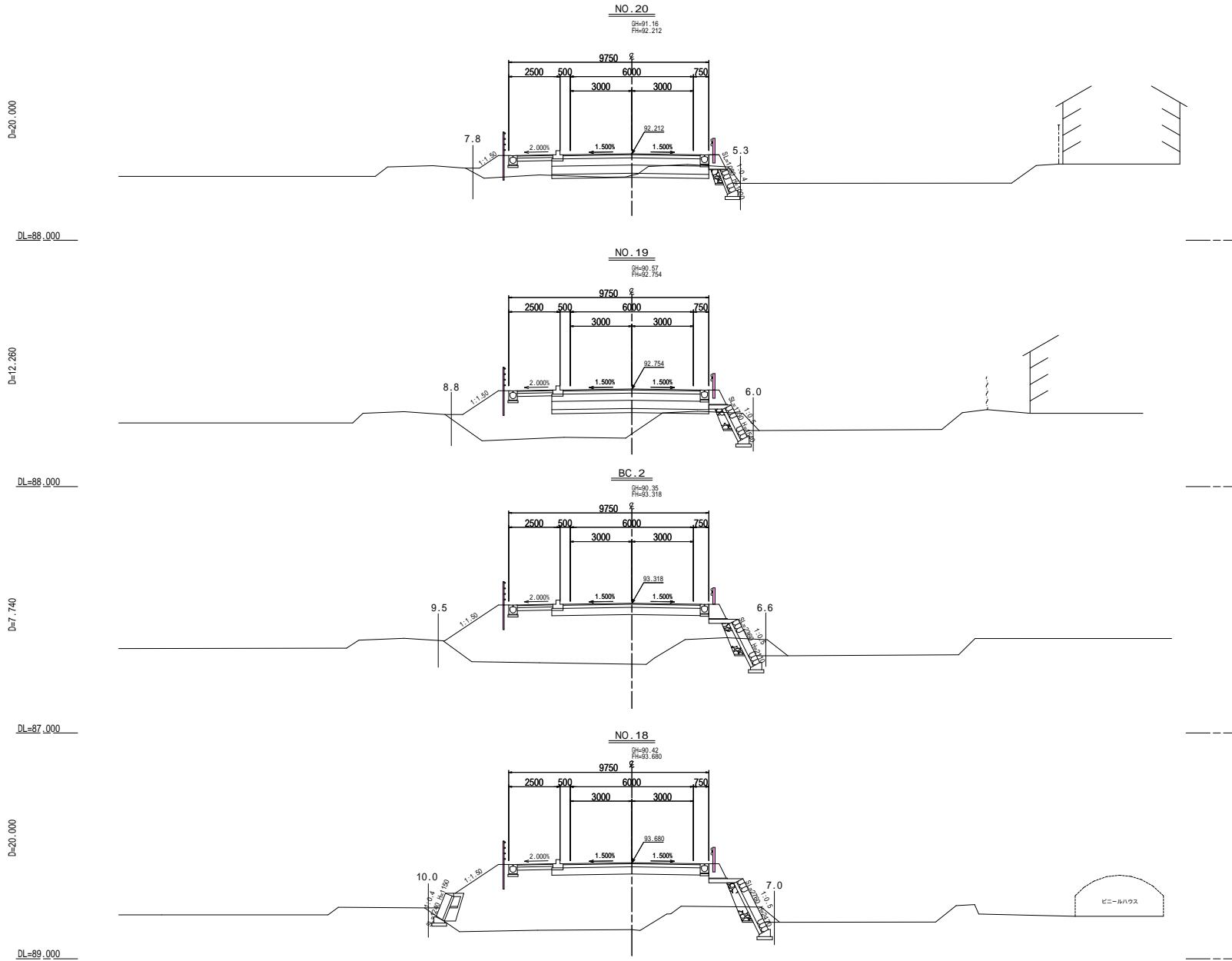
D=20.000

DL=90.000

注1: ()測点は、測量中心の測点を表している。
注2: ブレーキ測点NO.17+0.001を-0.001m調整して、
新測点NO.17としている。
SP.1 ~ NO.15

工事名	令和5年度 市道0365号線道路築造工事	
図面名	市道0365号線横断図(5/11)	
作成年月日	平成 22年 3月 15日	
縮尺	1:100	図面番号 /
会社名	-	
事業者名	板木県鹿沼市役所	

市道0365号線横断図(6/11) S=1:100



EC.1 ~ NO.18	
工事名	令和5年度 市道0365号線道路築造工事
図面名	市道0365号線横断図(6/11)
作成年月日	平成 22年 3月 15日
縮尺	1:100 図面番号 /
会社名	-
事業者名	板木県鹿沼市役所